

## SDGsへの取り組み

### りゅうぎんグループSDGs宣言の策定について

りゅうぎんグループは、国連の提唱する「SDGs」(持続可能な開発目標)の趣旨に賛同し、地域の皆様とともに持続可能な社会を実現するために、「りゅうぎんグループSDGs宣言」を策定しました。

琉球銀行は、「地域から親しまれ、信頼され、地域社会の発展に寄与する銀行」を経営理念とし、これまでも本業である金融業や各種の地域貢献活動等を通じて、地域の経済・社会・環境の維持・発展に取り組んでまいりました。

地方銀行を取り巻く環境が厳しさを増す中、今まで取り組んできた地域との共生をさらに推進し、SDGsの達成に貢献することが、琉球銀行の経営理念の実現に資するものと考え、今般の宣言策定となりました。

りゅうぎんグループは、今後も役職員一同、地域の持続可能性確保のための活動を継続してまいります。

### りゅうぎんグループSDGs宣言

#### 01 金融グループとしての責任

りゅうぎんグループは、グループ連携を通じて円滑に金融仲介機能を発揮するとともに、顧客本位のビジネスモデルを構築・実現し、地域経済の持続的な発展に貢献します。

#### 02 地域社会の持続可能性の確保

りゅうぎんグループは、性別、国籍、障がいの有無、経済的な格差等による不平等をなくし、持続可能な地域社会を実現するため、地域社会の課題に向けた施策を継続的に実施します。

#### 03 地球環境保護への貢献

りゅうぎんグループは、地域の持続可能性確保の前提として地球環境の保護が重要との認識のもと、地球温暖化の抑止や自然環境・生態系保護のための活動を積極的に行います。



## SDGsとは

「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」のことで、2015年9月に国連加盟国で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載の2030年までの国際目標です。「誰も置き去りにしない」という理念を掲げ、貧困・教育・環境などに係る17のゴールと169のターゲットから構成されています。

# 01 地域経済活性化への取り組み



## ◆ 新産業の創出

### 創業・新事業開拓支援、ファンドによる支援／キャッシュレス化の推進

沖縄タイムス、沖縄セルラー、沖縄電力、JTAとの共同主催で、県内外の起業家支援機関と連携し、沖縄から革新的で競争力のあるベンチャー企業(スタートアップ)を創出・育成する「OKINAWA STARTUP PROGRAM」を実施しています。本プログラムの参加企業(チーム)には、琉球銀行および県内外の起業家支援機関がビジネスプラン熟成のメンタリング等を行い、事業化が見込まれる優れたプランに関しては、BORベンチャーファンドからの出資やパートナー企業とのマッチング等のサポートを実施しています。

また、個人向けのりゅうぎんVisaデビットカードの発行枚数は13万枚を突破し(2019年12月末)、2017年1月より取り扱いを開始しているカード加盟店サービスにおいても、座間味村観光協会を皮切りに石垣島・宮古島・久米島の各島の商工会議所、観光協会と加盟店開拓業務の提携を開始する等、キャッシュレス化の推進・サービス提供に努めています。

これら「キャッシュレスアイランド」への実現に向けた取り組みは、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部から2018年度の「地方創生に資する金融機関等の『特徴的な取組事例』」として選定され、内閣府特命担当大臣(地方創生担当)より表彰されました。

## ◆ 地域への還元

### りゅうぎん地方創生応援私募債／地域貢献型カード(OCS)

「りゅうぎん地方創生応援私募債」の取り扱いを開始しました。「りゅうぎん地方創生応援私募債」とは、私募債を発行する際に、琉球銀行が発行企業から受け取る手数料の一部を、発行企業と琉球銀行で協議の上、沖縄県の学校、教育文化施設、または伝統文化、環境保全、観光推進等の地域貢献、地方創生を目的に設立された団体へ寄付する仕組みです。

また株式会社OCSでは地域貢献型カードを発行し、売上金の一部を協礼金として毎年寄付をしています。「トリアスロンカード」は宮古島トリアスロン実行委員会と提携し、これまで運営資金として約1,260万円の寄付を行いました。「やいまカード」は一般社団法人八重山ビジターズビューローと提携し、観光産業の振興を目的として、これまで約1,160万円の寄付を行いました。



「りゅうぎん地方創生応援私募債」寄付金贈呈式

## ◆ 文化振興

### りゅうぎん紅型デザインコンテスト／りゅうぎん琉球漆芸技術伝承支援事業

沖縄県の伝統工芸の一つである紅型の振興と若手工芸家の育成ならびに紅型デザインの新しい領域の追求を目的に「りゅうぎん紅型デザインコンテスト」を毎年開催しています。入賞作品については、琉球銀行のカレンダーや通帳、広報物等に幅広く活用されています。

また、創立70周年記念事業の一環として、株式会社沖縄タイムス社との共催で、「りゅうぎん琉球漆芸技術伝承支援事業」を開始しました。これは琉球漆芸における若手従事者の確保と技術の伝承、従事者が生計を立てられる収入を得られることを目的とするものです。



第28回 りゅうぎん紅型デザインコンテスト表彰式

## 02 地域社会および 職場における平等の確保



### ◆ 地域支援

#### りゅうぎんユイマール助成会 / 子ども居場所づくりイベント事業助成金

「りゅうぎんユイマール助成会」は、1993年に琉球銀行の創立45周年を記念して設立した基金です。毎年、役職員に募金を募り、更に同額を銀行が寄付することで基金を造成します。

「りゅうぎんユイマール助成会」では、地域の福祉活動や環境保全活動を継続的に支援しており、設立からの助成実績は1,118件、2億1,524万円となりました。

(2020年3月31日現在)



「りゅうぎんユイマール助成金」贈呈式



「子ども居場所づくりイベント事業助成金」贈呈式

### ◆ 教育支援

#### りゅうぎんキッズスクール / りゅうぎん海外留学支援事業 大学での寄付講座(琉球大学・沖縄国際大学)

毎年夏休み期間中に小学5・6年生を対象として「りゅうぎんキッズスクール」を開催しています。

17回目となる2019年度は、ゲームを通じて経済の仕組みやお金の流れ等を学習する経済教室や、コンピューターに触れて興味を持ってもらうことを目的とした「プログラミング教室」を開催しました。



りゅうぎんキッズスクール

### ◆ 障がい者支援

#### 海あしびな-SUNフェスタ ナイスハートバザール

琉球銀行グループ・友好会社7社は、共生社会の拠点づくりを目的に開催された「海あしびな-SUNフェスタ」へ特別協賛しています。

本イベントは、全ての人が障がいの有無に関わらず、地域において豊かな生活を送ることができる共生社会の実現に向けた取り組みとして2017年より開催されています。



海あしびな-SUNフェスタ2019

### ◆ 女性活躍推進

#### 企業主導型保育園(にじいろたまご保育園) 管理職への女性の積極登用

2019年4月1日(月)に、企業主導型保育園「にじいろたまご保育園」を開園しました。「にじいろたまご保育園」は、りゅうぎん健保会館(那覇市壺川1-1-9)の空きスペースを株式会社人材派遣センターオキナワへ賃貸し、同社が保育園を設置・運営しています。



にじいろたまご保育園

### ◆ 健康経営

#### MO! SWANデー NAHAマラソン特別協賛

職員の健康を重要な経営資源の一つと捉え、これからも組織として職員の健康管理・健康保持に積極的に取り組むため「健康経営宣言」を策定しました。



MO! SWANデー ロゴ

## 03 地球環境保護のための具体的な行動



### ◆ 二酸化炭素 (CO2) の排出抑制

#### カーボンオフセット実施／ペーパーレス化推進

協賛している「ナイスハートバザールイン沖縄」において、同イベントで排出されるCO2排出量を国内クレジット先より買い取るカーボンオフセットを実施しています。このカーボンオフセットの実施により、沖縄の環境保護活動を行う団体への寄付が行われています。

また、会議等の資料を紙の印刷物ではなく、タブレット端末での閲覧やプロジェクターでの投影で代替し、電子稟議等も導入することでペーパーレス化を推進しています。



第35回ナイスハートバザールイン沖縄

### ◆ 自然環境・生態系保護

#### 「国場川水あしび」へのボランティア派遣 「沖縄県植樹祭」へのボランティア派遣

国場川水系の各河川は水鳥が多く飛来し、特にその河口の漫湖は、ラムサール条約に登録された国際的にも重要な湿地帯です。残された貴重な自然や水辺を守り、環境保全活動への理解を深めるために、琉球銀行は「国場川水あしび」にボランティアを派遣し清掃活動を実施しています。

また、一人ひとりが緑化の重要性を認識し、「一島一森(いちしまいちむい)づくり」に積極的に取り組むという趣旨に賛同し、沖縄県・沖縄県緑化推進委員会・豊見城市主催の「沖縄県植樹祭」へボランティアを派遣し、緑化運動に貢献しています。

### ◆ 省エネへの取り組み

#### 本部支店における「Nearly ZEB」認定取得

2019年3月25日(月)に新店舗へ移転した本部支店が、国土交通省公示に基づく第三者機関より「Nearly ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビルディング)」の認定を受けました。ZEBとは、ゼロエネルギーに向けた達成度に応じて3段階に区分されており、年間エネルギー収支を100%以上削減したものを「ZEB」、75%以上を「Nearly ZEB」、50%以上を「ZEB Ready」と定義しています。今回の「Nearly ZEB」の認定は県内初となり、本部支店は光熱費のランニングコストを大幅に抑えた建物を実現しました。



琉球銀行 本部支店

### ◆ 環境意識向上に係る周知・啓蒙

#### 那覇市「環境絵日記」「4R推進ポスター・標語」コンクール協賛

那覇市主催の「環境絵日記」「4R推進ポスター・標語」コンクールに、企業賞への協賛として協力しています。小学生や中学生が環境問題について考えることを目的に開催されるイベントへ協力することで、未来を担う子どもたちの環境意識の向上に貢献しています。



那覇市「環境絵日記・4R推進」コンクール表彰式